

平成28年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市大場地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

大場地域ケアプラザの担当エリアは、あざみ野団地やイディオス等、大型の団地やマンションもありますが、全体的には戸建ての住宅の多い地域です。坂の多い地形で、入り口に階段のある住宅も多く見られます。そのため、高齢になり足腰が弱ると外出が困難になることなどが懸念されます。

ケアプラザは、駅から離れた場所にあること、坂の上にあることなどから、一部地域の方には利用しづらい立地条件にあります。また、大場町はエリアが広いので、最寄りのバス停からケアプラザに直通で来ることができず、バスと電車の乗り継ぎが必要な地域もあります。

ケアプラザの自主事業では「健康」「認知症予防」などのテーマには関心が高く、他の自主事業よりも参加者が多い傾向があります。

年少人口比率は荏子田町（15.3%）やみすずが丘（15.5%）等、最近になって開発された地域では区平均（14.1%）と比べ高くなっています。一方で、高齢化率は、あざみ野二丁目 22.4%、三丁目 28.0%、四丁目 19.9%、元石川町 22.8%、（青葉区 19.4%）と、高くなっている地域も多くあります。（「横浜市統計ポータルサイト」より人口データを基に算出）

また、地域の課題としては

1. ここ数年、認知症に関する相談の件数が増えており、認知症に関する知識の普及啓発や地域ぐるみで認知症の方を支える仕組みづくりの必要性が高まっています。
2. 自主事業への参加率は女性の方が高い傾向にあります。また、定年退職される男性が地域で増えてきています。そうしたことから男性が参加できたり、活躍できる事業と場づくりが求められています。
3. 健康作りやボランティア活動が盛んな地域ですが、活動団体間の交流が希薄であったり活動情報が地域の方に行き届いていないことが課題となっています。
4. 子育て世代が多く、より身近な地域で子育て中の保護者が交流したり、情報交換や育児の悩みを相談できるような様々な場所があることが求められています。

今年度の重点目標

- ア. 自主事業及び地域支援について地域活動交流と地域包括支援センターそれぞれの機能を生かしながら地域の情報を共有し、課題解決を進めます。
- イ. 地域福祉保健計画、子育て支援、高齢者支援など地域の関係者、区役所等と協働、連携して取り組みます。
- ウ. 地域のボランティア団体、医療機関、福祉機関、学校と協働で取り組んでいる地域のネットワーク作り「健幸笑てん」や地域ケア会議等の取組を推進し、地域包括ケアシステムの構築を目指します。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

地域の様々な方が快適・安全に利用できるように、施設・設備の管理・保守を行っています。具体的には、設備総合巡視、空調設備、消防設備、自家用電気工作物等の定期的な保守点検、定期清掃や日常清掃、衛生管理、緑化管理、不具合の対応等を専門の委託業者と契約し適切に対応していきます。

また、緑化管理については、年1回の植栽管理にとどまらず、お客様が快適に過せるような庭づくり、環境整備を行います。

イ 効率的な運営への取組について

指定管理の運営が適切に、且つ、効率的に運営できるように法人関係部署、各担当が連携して取り組みます。

市内中小企業優先を踏まえつつ、経費削減にむけ、法人本部と連携し、建物管理・保守、清掃等の委託業者の選定では電子入札等を実施します。また、法人のスケールメリットを活用し、法人内の他の施設と合同で車両リースの一括入札や消耗品の共同購入などを行います。

ウ 苦情受付体制について

法人の苦情解決規則に基づき、地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者・苦情解決責任者を配置して、お客様からのご意見・ご要望・苦情など様々な声に対応するとともに再発防止や改善に努めます。

法人内で月1回サービス向上委員会を設置し、同一法人内の他の施設でいただいた、ご意見・ご要望も共有し全体で学んでいきます。

また、法人において公正・中立の立場から斡旋・調整を行う第三者委員を設置し適切な苦情解決に向けて取り組みます。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

緊急時に備えて、各種対応マニュアル・BCP（サービス提供継続計画）を整備します。年2回程以上防災訓練を実施し、緊急時にケアプラザ職員がマニュアルに則り適切な対応がとれるよう災害時の備えを行います。

また、横浜市から特別避難場所としての指定を受けており、災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所としての役割を担います。

防犯対策としては、警備会社と委託契約を結び、適宜対応ができる体制を整えています。

オ 事故防止への取組について

事故発生の際は、再発防止に向けて迅速に原因の究明・分析、対応策を検討し、報告書を作成し、区役所及び法人本部に報告します。また、ミーティングや全体会議で事例を報告すると共に、事故防止策について職員全員に周知を徹底します。さらに日常の業務においては、「ヒヤリ・ハット」報告の徹底とその後の共有化にて原因の究明および改善点の検討を行うなど、事故を未然に防ぐように努めます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報の取り扱いには具体的な取り扱いとマニュアルを定め、全職員に徹底して保護に努めます。

具体的な対策は以下の通りです。

- ア. 契約書、個人ファイルなどは施錠できるロッカーなどで保管し、個人情報を携帯する場合には紛失や情報漏えいのないようダブルチェックで確認後、最小限の情報のみを携帯するようにします。
- イ. F A X 及び郵送物の誤送付や通所介護における誤配布がないよう、ダブルチェック等を行い、細心の注意を払います。
- ウ. 広報誌等において、個人が特定できる写真や記事等を掲載する場合には、必ず書面、または、口頭で了解を得てから実施します。
- エ. 個人情報保護の重要性に関しては、研修や日々のミーティングなどを通して職員へ周知していくと共に、個人情報の取り扱いについて細心の注意を払うよう繰り返し意識啓発を行います。

キ 情報公開への取組について

横浜市が制定する「情報公開条例」の趣旨に則り、当法人は情報公開規程を定めています。公開する情報としては、法人の概要、サービス内容、財務状況、事業計画、事業報告等です。

また、情報開示に関する申し出があった場合は、個人情報保護に最大限配慮しつつ、積極的に情報開示に努めます。

ク 人権啓発への取組について

法人やケアプラザで人権に関する研修を定期的に行い、職員が人権を尊重した対応ができるよう取り組んでいます。虐待等の相談があった時には、区役所と共同で支援にあたると共に、必要に応じて関係機関と連携して支援を行います。

ケ 環境等への配慮及び取組について

省エネルギー対策、ごみの減量化など良好な環境の維持の為に、節電・節水をこまめに行ったり、コピー用紙の裏面使用を励行するとともに、資源ごみの分別収集に協力します。

植栽の管理等の環境保全の実施、夏季軽装での執務（クールビズ）・冬季の保温対策（ウォームビズ）に取り組むなど適正な冷暖房の使用に努めるとともに、不要な照明の消灯や使用していない事務用機器の電源を落とすなど環境保全や地球温暖化防止への取組も引き続き実施します。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

保健師担当看護師 1名
社会福祉士 1名
主任ケアマネジャー 1名
介護予防プランナー 1名 (非常勤)

《目標》

- ア. 相談を受けたケースをアセスメントし、介護保険利用や地域資源・事業の紹介、インフォーマルサービスの紹介等、ご本人の状況やニーズにあわせ円滑に支援することを目指します。
- イ. 自立支援に向けた適切なケアマネジメントを目指します。
- ウ. ご本人の意欲を引き出せるようなケアマネジメントを目指します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ご本人が望む自立した生活ができ、要介護状態にならないようにケアマネジメントを行っています。介護保険サービス等のフォーマルサービスだけでなく、ご本人のニーズに合った地域活動等のインフォーマルサービスのご案内等を行います。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
163	161	164	161	162	163
10月	11月	12月	1月	2月	3月
164	164	164	163	163	165

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（主任介護支援専門員兼務） 1名（常勤兼務）
 介護支援専門員 3名（常勤専従）

《目標》

- ア. 特定事業所として質の高い適正な保健医療サービス及び福祉サービスが適正に提供されるよう公正・中立な立場で居宅サービス計画を作成します。
- イ. 関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者・インフォーマルサービスを提供しているボランティア団体等との綿密な連携にてサービスの調整を今後も実施します。
- ウ. 居宅サービス計画は利用者自身の意見を反映すると共に心身の状況や環境条件等に応じて利用者が自立した日常生活を営む事を目標に作成します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

公共交通機関の運賃分（明細書等を作成し提示します。）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

質の高いケアマネジメントを提供する特定事業所として、今後もより一層の支援をしてまいります。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
100	100	100	100	100	100
10月	11月	12月	1月	2月	3月
100	100	100	100	100	100

3. 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ア. お客様の心身の特性をふまえ、身体状況に応じて入浴・食事・排泄などの介護が必要な方へお手伝いをします。
- イ. (個別) 機能訓練や口腔器機能向上等を希望される方には実施計画等に基づきサービスを実施いたします。
- ウ. 在宅生活を継続できる事を目標に自分でやってみたい事などに積極的に取り組めるよう各種活動を通して可能性を広げるための支援と環境づくりを行います。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

ア. 1割負担分

(要介護1)	704円
(要介護2)	831円
(要介護3)	963円
(要介護4)	1095円
(要介護5)	1227円

イ. 食費負担 650円

※介護職員処遇改善加算（I） 加算率4%が加算されます。

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:30~16:35

《職員体制》 管理者 1名 生活相談員 3名 看護職員 7名
 介護職員 19名 機能訓練指導員 7名

《目標》

- ア. お客様一人ひとりがご自分の能力や意欲をできる限り発揮でき、その人らしい生活が送れるように自己選択・自己決定を大切に取り組んでまいります。
- イ. 自らの力で「できる」喜びを大切に、自信を持って生活していただけるよう支援を行ないます。
- ウ. お客様同士が自然に助け合える、社会性をはぐくんでまいります。
- エ. 認知症のお客様に対する取組を強化していきます。研修を通して、認知症に対する理解や知識を深めます。認知症のお客様が安心して過せるように、お客様に寄り添い専門性を持って対応します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. お茶・コーヒー・紅茶等自由に飲みたい時に飲めるように配慮しています。
- イ. 各種イベント（運動会・秋祭り）や野菜作り・ガーデニング・手芸・料理・マージャン・囲碁・将棋・合奏等々、お客様が生き生きと参加いただけるメニューを取り揃えています。
- ウ. ご本人の希望を重視し、季節に合わせて制作物を作ります。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
635	635	635	634	658	633
10月	11月	12月	1月	2月	3月
633	633	584	584	585	659

4. 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ア. 要介護状態にならない様に筋力強化と共に日常生活での転倒予防と生活意欲と生活活目標が持てるよう支援を行います。
- イ. 趣味や興味を引き出し、積極的に社会交流が出来るよう支援いたします。
- ウ. 地域包括支援センターと連携をはかり総合的なサポートを実施いたします。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

ア. 1割負担分

（要支援1） 1766円

（要支援2） 3621円

運動器機能向上加算 242円

介護職員処遇改善加算（Ⅰ） 加算率4%が加算されます。

イ. 食費負担 650円

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9：30～16：35

《職員体制》

通所介護事業同様 : 一体型

《目標》

- ア. 要支援状態改善に向けた筋力の向上と生活に即した生活リハビリに重点を置き自立を目指した支援を行います。
- イ. 地域での交流や地域の一員としての生活意欲を発揮できるように支援いたします。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ア. 自主性を大切にして自己選択・自己決定の風潮を大切にしたサービス提供を行います。
- イ. 他の人との交流や思いやりの気持ちを大切に育みます。
- ウ. 自らの可能性を広げ新たな挑戦を行える環境づくりを行います。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
15	15	15	15	15	15
10月	11月	12月	1月	2月	3月
15	15	15	15	15	15

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

【高齢】

高齢者が住みなれた地域で安心して、その人らしい生活を継続していくことが出来るよう、地域活動交流と地域包括支援センターが連携し様々な相談をお受けします。

本人のみならず家族や地域の状況等も踏まえ、必要に応じて訪問を行い、的確に状況把握を行い適切な機関、制度、サービスに繋げていきます。

【こども】

地域の子育て支援に関する情報収集に努め、お問い合わせに対して必要な情報発信ができるように努めます。

地域の主任児童委員と連携して取り組めるよう良好な関係性の構築に努めます。

相談内容によっては必要に応じて区役所やラフルなど関係機関を紹介します。

【障害】

地域の関係機関との連携強化に努め、相談内容に応じて必要な情報発信ができるよう心がけます。

相談内容によっては必要に応じて関係機関を紹介します。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

毎月定期的に所内会議を開催し情報の共有化と連携強化に努めます。また、地域課題等を解決するために共催事業を企画し実施します。

地域活動交流事業に参加している参加者の状況によっては、必要に応じて地域包括支援センターを紹介します。また、地域包括支援センターで相談を受けた方で、地域活動交流事業の対象となりうる方については当該事業を紹介する等、相互に連携して地域で支援が必要な方を支えています。

また、「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」を目指す「健幸笑てん」について、運営がスムーズに行えるよう協働で支援を行います。

3 職員体制・育成

それぞれの事業ごとに必要な、資格要件を満たした職員を人員配置基準に従って適正に配置します。状況に応じて人員配置基準以上の職員を配置します。

また、それぞれの専門分野における研修の受講や同職種間での勉強会（法人内19ヶケアプラザ合同）を実施します。

経理等の一人職種の場合は法人内でバックアップしていきます。

職員同士が連携、協力し事業や業務に取り組むことで相互に育成し合える職員体制の構築に努めます。

4 地域福祉のネットワーク構築

地域関係団体との連携を実現するために地区民生委員児童委員の定例会など地域の定期的な会合へ地域包括支援センター職員と地域活動交流職員が参加し情報交換・共有を図ります。

また、地域福祉保健計画推進会議のメンバーの一員として、地域の関係機関との連携に努めます。

「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」を目指す「健幸笑てん」について、運営がスムーズに行えるよう協力してサポートに努めます。

「健幸笑てん」の取組についてメンバーと連携してまいります。

地域ケア会議等を通じて地域包括ケアシステムの構築を行います。

5 区行政との協働

青葉区福祉保健計画に基づき、区や地域福祉保健計画推進会議のメンバー、青葉区社会福祉協議会等と連携してよりよい地域づくりを目指します。

区役所の地区担当と連携して、総合相談の支援や定例カンファレンス、介護者のつどい等の企画、実施について取り組みます。また、虐待や支援が困難なケース等についても適宜、区役所と連携して支援を行います。

区役所と協働で医療と介護の連携を目指します。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

社会資源の状況や地域のニーズを把握するために地域の関係団体の会合への参加、ケアプラザ利用団体の方や事業参加者へのアンケートの実施等情報収集に努めます。

広報紙を月1回発行し積極的にケアプラザのPRや各種情報を提供すると共に各種チラシを作成し、よりわかりやすい情報を提供いたします。

チラシについては、子育て支援事業については、ラフルールやこども家庭支援課に定期的に発送し情報発信への協力を依頼します。

ホームページの継続的な更新を行うとともに、あおばみん等も活用して情報発信を行います。様々なツールから地域の方が情報をキャッチできるよう多様な情報発信に努めます。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

ケアプラザ利用登録団体に対しては積極的にボランティア活動が出来る場の紹介を行います。

また、ケアプラザの立地条件から日曜・夜間の利用者は少ない状態ですが、より利用しやすい施設とするため、利用者の少ない休日・夜間については、車での来館についての規制を緩和し、車での来館を可能な限り認めるようにしています。日曜・夜間について、より気軽に利用して頂けるよう引き続き周知します。(平日昼間については駐車スペースの関係から1貸室ごと1台の駐車可としています。)

また、地域の方が来館され、情報を求められた際には、各団体についての情報を積極的にお知らせするように心がけるとともに、館内の掲示板を地域団体に開放し、依頼があった場合にはチラシを掲示しています。

登録団体用のチラシラックを用意し、登録団体が来館者に向けて情報発信できるようにしています。

3 自主企画事業

近隣の子育て支援施設（親と子のつどいの広場 WITH 等）と協力して、子育て支援事業を実施します。

区内の複数の地域ケアプラザ共催にて行う障がい児余暇支援事業「わくわくあおば」を開催します。

その他、山内地区センターと共催にて「ボーイズクラブ」の支援を行います。これは、昨年度立ち上がった地域の方と地域団体との交流会を通して結び付けることを目的とした地域団体による集まりで、月 1 回の定例会と年 2～3 回程度のイベント開催を行います。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

登録済みボランティアについては、活動場所の情報提供を含め機動的なコーディネートができる仕組みの構築を図ります。

本人のニーズと合うボランティア活動が紹介できない場合には、青葉区社会福祉協議会のボランティア 110 番等他機関も案内していきます。

地域のボランティアグループや機関から情報提供を求められた際には、各団体に積極的に声掛けをし、活動につながるよう支援します。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ア. 住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことが出来るよう、本人、家族、近隣住民、民生委員などから様々な相談を受けます。相談を受けた際には的確な状況把握を行い、適切な情報提供や支援を行うと共に、必要に応じて緊急対応を行います。
- イ. 地域包括支援センターが身近な相談窓口であることをケアプラザの掲示板・広報紙・ホームページ、また職員が地域の関係団体の会合や行事等に積極的に参加するなどして周知していきます。
- ウ. 電話や来所以外にも職員が相談者宅に訪問し、相談できることを周知します。対応は迅速かつ柔軟、丁寧に行います。当事者や相談者と信頼関係及び気軽に相談できる関係性を構築すると共に必要なモニタリングを行います。

地域包括支援ネットワークの構築

- ア. エリア内にある自治会や民生委員、ボランティア、福祉および医療機関、行政等と協力して、地域の課題について協働して検討していけるように取り組みます。
- イ. 「健幸笑てん」の取組を通してネットワークの構築を行います。

実態把握

- ア. 月に1回、担当エリア内3か所の民生委員児童委員協議会の定例会に参加し顔の見える関係作りを行います。またエリア内の民生委員と直接話し合いをする場を設け、情報共有及び収集を行い地域課題等の把握に努めます。
- イ. 地域の老人会や食事会、ミニデイや体操教室、介護者の集まり等に積極的に参加し、情報収集及び提供を行います。
- ウ. 個別ケース及び地域について必要に応じて訪問を行い、本人や家族、近隣住民等から情報収集を行います。
- エ. 相談後に介護保険のサービスにつながらない方々には個別に訪問し個々の状況を継続して把握します。
- オ. 年に1回利用者アンケートを行い、情報収集に努めます。

2 権利擁護

権利擁護

- ア. 地域の方々がその人らしく暮らせるよう、適切な制度（成年後見制度や日常生活自立支援事業等）につなげるとともに、制度の普及啓発に努めます。
- イ. 地域の方に成年後見制度や消費者保護に関する情報を講座や地域の活動等を通して情報提供を行います。
- ウ. 成年後見制度、消費者被害や虐待について説明を行い、地域に気になることがあったら連絡して欲しい事を伝えます。
- エ. 自分から援助を求められない方を相談内容や実態把握の中から発見し、アプローチを行い、本人の意思を尊重しながら支援を行います。

高齢者虐待

- ア. 虐待が疑われる事例を把握した場合は迅速に区役所に報告し、必要に応じてカンファレンスの実施や訪問を行い、区役所と連携して状況に即した適切な対応を行います。
- イ. 毎月のケアマネジャー向け定例カンファレンス等で虐待のケースについての話し合いや情報収集を行います。地域住民や民生委員、医療機関や在宅サービス事業者等と連携を深めるなどして早期発見に努めます。
- ウ. ケアマネジャーが担当している虐待のおそれのあるケースについては同行訪問して状況確認をしていきます。
- エ. 『介護者のつどい』を年11回開催し、介護者支援を行うことで予防に努めます。

認知症

- ア. 「認知症サポーター養成講座」を当ケアプラザ内や地域に出張して開催し、認知症の方やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」を多数養成し認知症になっても安心して生活できる地域づくりを目指します。
- イ. 「介護者のつどい」を年11回開催し、介護者や介護を経験した方同士が交流できる場を設けます。認知症の方への対応方法などの情報交換を行い、介護者支援を行います。7月には対象を男性に限定し開催する予定です。
- ウ. 認知症支援について民生委員、地域住民、医療機関、在宅サービス事業者等との連携に努めます。
- エ. 地域内2ヶ所のグループホームの運営推進会議に出席し施設と地域を繋ぐよう努めます。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

- ア. 住み慣れた地域で自立した生活を継続できるように、適切なケアマネジメントを提供します。
- イ. 地域のケアマネジャーとの連携に努め、同行訪問やサービス担当者会議に参加します。
- ウ. ケアマネジャー対象の介護予防従事者研修を区と協力して行います。
- エ. 地域のインフォーマルサービスを積極的に利用しながら介護予防ケアマネジメントを提供いたします。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ア. エリア内3民生委員児童委員協議会に情報提供と顔の見える関係を継続するために、包括支援センターと地域活動交流が協力して毎月訪問します。
- イ. 地域の問題を一緒に考えていく機会として民生委員や関係者と話し合いの場を設けます。
- ウ. ケアマネジャーと民生委員との連携を、8月に区内の他包括と合同で行います。お互いの更なる職種理解と相談し合える関係作りとなるようにしていきます。
- エ. 地域住民に向けて地域の医療機関を招いた講演（講座）など、地域の医療機関と情報交換や意見交換ができる場を今年度も継続して開催します。

医療・介護の連携推進支援

- ア. 区役所と医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護職と顔の見える場づくりを行う連絡会（月に1回）に参加し、地域包括ケアをめざします。
- イ. 定例カンファレンスにおいて、医師、訪問看護師、薬剤師を招いてケアマネジャーの医療の知識の向上につなげます。
- ウ. 青葉区内5連絡会（ケアマネジャー、訪問看護、訪問介護、通所介護、施設）の顔の見える関係、相談し合える関係づくりのための「ねっとわーく青葉」に参加して、広域（9月）、エリア別（2月）で2度開催予定です。

ケアマネジャー支援

- ア. 毎月エリア内の居宅介護支援事業所（6か所）の訪問を行い、ケースの相談や情報提供を継続します。
- イ. 毎月定例カンファレンスを行い、勉強会や意見交換会などを通して、ケアマネジャーのスキルアップに繋げ、相談しやすい関係作りに努めます。
- ウ. 区内のケアマネジャーの勉強会に、区内包括支援センターとして月1回参加し、支援をしていきます。
- エ. 新人研修として年2回、区で募集を行い担当をします。個別の研修や合同での研修で新人同士の連携ができるよう工夫していきます。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ア. 地域活動交流と地域包括支援センターが協働で取り組んでいる「健幸笑てん」について今年度も連携して取り組みます。
- イ. 自主事業において特に高齢者支援事業においては地域活動交流と共催で実施し、地域課題の共有と課題解決に向けた取組を協働で行います。
- ウ. 大場地域ケアプラザが力を入れて取り組んでいる認知症啓発活動についても地域活動交流と協働して認知症サポーター養成講座等に取り組みます。
- エ. 毎月定期的に地域活動交流と地域包括支援センターの合同会議を開催し、相互の情報共有や自主事業などの取組について検討や調整、計画を行います。

介護予防事業

介護予防事業

- ア. ロコモティブシンドローム予防や認知症予防運動、口腔ケア、栄養改善等2コース（4回シリーズ）の介護予防講座を行います。地域の方が参加しやすいよう自治会館2ヶ所で行い、介護予防の普及、啓発に努めます。
- イ. 地域活動交流と協力し、地域の高齢者がいつまでも元気であるためにを目標に年2回体力測定を行います。また、体力測定結果説明会にて介護予防の大切さを伝え、ご自身の体力を知り健康管理の目安にいただき、体力の維持・向上を目指していただきます。
- ウ. 地域の方から要望があった運動教室を地域の運動指導者の協力の下、定期的に関催し、介護予防に取り組み健康づくりを行う機会を増やします。
- エ. 元気作りステーション事業の取組として3か所目の立ち上げをめざし、保健活動推進委員や民生委員、地域のボランティアグループと連携、支援していきます。
- オ. 高齢者自らが介護予防に取り組み、地域の高齢者の健康づくりを担うGOGO健康サポーターを支援していきます。

カ. 元気なうちから介護予防を行う大切さを伝えるために、老人会やお食事会、サロン等地域の集まりに出かけ普及啓発を行うとともに個別相談の機会につなげていきます。

その他

- ア. 今年度も多角的な視点で当事者・家族・地域を支援できるよう地域ケア会議を開催し、地域の関係団体等と地域課題の共有や協力体制の構築につなげ、地域の方が住み慣れた町で安心安全に暮らせる町づくりにつなげます。
- イ. 介護予防を目的に日本体育大学と共催で「はつらつ体カチェック」を年2回実施し、地域の介護予防につなげます。
- ウ. 地域の方と顔がみえる関係が構築できるようケアプラザ内に常時、交流ラウンジやプレイルームを設置し、交流を大切にすると共に必要な情報提供や支援を行います。

平成28年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
オアシス游	70歳以下で介護保険未利用	190,000	112,000	78,000	10,000	180,000	
	30人/回						
	600円						
にこにこランド	H26年度生れの子と保護者	196,020	52,500	143,520	172,500	17,760	5,760
	10組						
	830円						
わくわくあおば	障がいのある小学生	18,560	3,560	15,000		18,000	560
	10人						
	1,500円						
ふれあいパークさくらんぼ	未就園児と保護者	500	500	0		500	
	20組/回						
	0円						
葉書絵講座	65歳以上	13,000	5,000	8,000	8,000	5,000	
	15人						
	500円						
納涼祭	地域の方	25,000	7,000	18,000		25,000	
	180人						
	100円						
みんなでハイキング	地域の方	3,200	3,200			2,000	1,200
	20人/回						
	0円						
かやのき土曜コンサート	地域の方	18,000	9,000	9,000	18,000		
	30人/回						
	100円						
かやのき名画座	地域の方	54,000	54,000	0		54,000	
	50人						
	0円						
ちゅーりっぷシアター (人形劇)	地域の方	3,000	3,000	0	3,000		
	50人						
	0円						
とっぴんぱらり	未就園児と保護者	36,000	27,600	8,400	36,000		
	10組/回						
	100円						
面白科学で工作	小学生	18,200	5,700	12,500		17,500	700
	25人						
	500円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
元気が出る体操	概ね65歳以上	302,400	0	302,400	288,000		14,400
	20人						
	420円						
かやのき祭り	地域の方	30,000	30,000	0		30,000	
	400人						
	0円						
ボーイズクラブ	地域の方	3,000	3,000	0		3,000	
	15人						
	0円						
ボランティア交流会	ボランティア	50,000	50,000	0	25,000	25,000	
	50人						
	0円						
健身操	65歳以上で介護保険未利用	121,900	18,400	103,500	115,000		6,900
	25人						
	0円						
草刈り隊	登録団体の方	8,500	8,500	0		8,500	
	20人						
	0円						
調理室大掃除	登録団体の方	5,000	5,000	0		5,000	
	10人						
	0円						
お話ごっこ012	2歳前後の子と保護者	6,000	6,000	0		6,000	
	10組						
昔遊びで脳活	65歳以上の方	15,000	0	15,000		15,000	
	50人						
	300円						
大場あんしん講座	地域の方	0	0	0	0	0	0
	30人						
	0円						
介護者のつどい	介護者	0	0	0	0	0	0
	15人程度						
	0円						
認知症サポーター養成講座	一般	0	0	0	0	0	0
	特になし						
	0円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
定例カンファレンス	エリア内ケアマネジャー						
	特になし	0	0	0	0	0	0
	0円						
新任ケアマネ研修	新任ケアマネジャー						
	2人	0	0	0	0	0	0
	0円						
ねっとわーく青葉	区内5連絡会						
	特になし	0	0	0	0	0	0
	0円						
あおばイキイキ！！元気塾	高齢者全般						
	40人	86,000	86,000	0	76,000	2,000	8,000
	0円						
はつらつ体カチェック	高齢者全般						
	100人	20,000	20,000	0	10,000	0	10,000
	0円						
はつらつ体カチェック結果説明会	高齢者全般						
	100人	13,000	13,000	0	10,000	0	3,000
	0円						
ノルディックウォーキング	高齢者全般						
	20人	17,000	17,000	0	15,000	0	2,000
	0円						
ボランティアスキルアップ講座	介護予防ボランティア						
	40人	15,000	15,000	0	15,000	0	0
	0円						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業計画書

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
オアシス游	<p>(内容) ボランティアによる食事会</p> <p>(目的) ①地域の高齢者の外出の機会の創出 ②地域での仲間作り</p>	偶数月の第一 (水) 6回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ここにこランド	<p>(内容) 本年度に2歳になる子と保護者を対象としたリトミック</p> <p>(目的) ①同世代の子を持つ保護者同士の交流のきっかけ作り ②終了後子育てグループの発足に繋げる</p>	4月～7月・9月～12 月の(木) ※ 第一(木)除 く 24回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わくわくあおば	<p>(内容) 障がいのある小学生を対象とした余暇支援(他機関との協働)</p> <p>(目的) ①障がいのある子どもとその家族の余暇支援 ②地域の障がい者支援へのニーズを探ること、及びノウハウの共有</p>	夏及び冬 年7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいパーク さくらんぼひろ ば	<p>(内容) 時間内出入り自由で玩具で自由に遊べる未就園児を対象とした広場。</p> <p>(目的) ①近隣地域在住の親子同士の交流の機会を作り ②親子同士の交流を通して、親子の孤立を防ぐ</p>	毎月第一(木) 12回/年

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
葉書絵	<p>(内容) 60歳以上の方を対象とした葉書を用いた水彩画教室</p> <p>(目的) ①地域の方の高齢者同士の交流の促進 ②ケアプラザについて地域住民への広報を図る</p>	7月・12月頃 2回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
納涼祭	<p>(内容) 地域の方、特に子供を対象とした流しそうめん大会</p> <p>(目的) ①様々な世代の方が同じイベントに参加することによる世代間交流の促進 ②夏休みの小学生及び乳幼児の余暇支援</p>	7月頃 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなでハイキング	<p>(内容) 地域の方を対象とした1日ウォーキング</p> <p>(目的) ①地域の方の交流の促進 ②地域の高齢者の健康増進 ③男性の外出機会の創出</p>	4月・10月 2回/年 ※ 雨天中止

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かやのき土曜コンサート	<p>(内容) 地域の音楽家の方に出演していただくミニコンサート</p> <p>(目的) ①生の音楽音に触れる機会を設け、地域住民同士の交流を図る ②企画の中で地域での音楽演奏サークルなどの出演機会を設け、地域活動への参加を促す</p>	奇数月の第4(土) 6回/年

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
-----	--------	---------

平成28年度 自主事業計画書

かやのき名画座	<p>(内容) 地域の方を対象とした映画会</p> <p>(目的) ①高齢者、特に男性の外出の機会の創出 ②ケアプラザの広報を図る</p>	4月・10月 2回／年
---------	---	----------------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちゅーりっぷシアター (人形劇)	<p>(内容) 座♪とんとんによる人形劇公演</p> <p>(目的) 地域の子育て中の方の外出機会の創出と保護者のリフレッシュの機会を作る</p>	12月 1回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
とっぴんぱらり	<p>(内容) 未就園児を対象としたわらべ歌、手遊びの広場</p> <p>(目的) ①地域の乳幼児のいる親子の閉じこもり防止 ②地域の親子の交流の促進</p>	毎月第2(金) ※ 8月は変更有 12回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
面白科学で工作	<p>(内容) 小学生を対象とした工作教室</p> <p>(内容) 年齢の違う子どもたちが一緒に作業することでお互いの交流を図る。親世代より上の世代である講師との世代間交流を図る。</p>	7月頃 1回／年

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

平成28年度 自主事業計画書

元気が出る体操	(内容) 60歳以上を対象とした介護予防体操教室 (目的) ①地域の高齢者の方の交流の促進 ②介護予防への意識付け	第1・3・4 (火) ※ 祝日除く 35回/年
---------	---	----------------------------------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かやのき祭り	(内容) ケアプラザ祭り (目的) ①地域の方に施設をPRする ②利用団体同士の交流	11月頃 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボーイズクラブ	(内容) 地域の方と地域の団体が出会う場を作ることを目的としたグループ活動 (目的) 活動の継続とPRの支援	毎月第4(木) +イベント 15回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	(内容) ボランティアを対象とした交流会と勉強会 (目的) ①ケアプラザに関わっているボランティア同士の交流の機会を設ける ②ボランティアの方の学習の機会を設ける	3月頃 1回/年

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
	(内容)	

平成28年度 自主事業計画書

健身操	高齢者を対象とした介護予防体操教室。座ったままできる体操を中心に実施 (目的) ①地域の高齢者の健康増進による介護予防 ②仲間作りの促進	第2・4(木) 24回/年
-----	---	------------------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
草刈り隊	(内容) 登録団体と一緒にを行う敷地内の除草作業 (目的) ①利用団体同士の交流の促進 ②施設に対し愛着を持ってもらうこと	5月頃 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
調理室大掃除	(内容) 調理室利用団体の方と行う調理室の大掃除 (目的) ①利用団体同士の交流の促進 ②きれいに利用しようという意識付け	3月頃 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お話ごっこ012	(内容) 6か月～2歳くらいまでを対象とした絵本の読み聞かせと手遊びの講座 (目的) ①乳児の保護者の子育て不安を和らげる ②同世代の子を持つ保護者同士の交流 ③次世代の読み聞かせボランティアの育成	6月頃～12月頃 6回/年

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
共遊アビで脳活	(内容) 高齢者を対象とした脳トレゲーム (目的)	6/10

平成28年度 自主事業計画書

目録の印刷	①軽運動と回想法を取り入れた昔あそびを行うことで、脳の活性化を促進する ②地域包括支援センターのPR	1回/年
-------	---	------

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
大場あんしん講座	(内容) 詐欺や悪徳商法の紹介と対処方法の説明。成年後見制度についての説明。 (目的) 地域を対象に権利擁護に関する普及啓発	1回/年 10月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	(内容) 介護者間の情報交換会及び介護に関する情報提供。 (目的) 介護者の介護ストレスの軽減及び介護者間の交流の場づくり。	11回/年 7月を除く毎月第4水曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	(内容) 養成講座の開催 (目的) 地域の方に認知症を正しく理解して頂き、認知症の方々が安心して過ごせる地域づくりを目指す。	年4回予定

事業名	目的・内容	実施時期・回数
定例カンファレンス	(内容) 毎月エリア内のケアマネジャーを対象に、勉強会や交流会、情報提供を行う。 民生委員や医療（医師、訪問看護師、薬剤師）との連携の場を設ける。 (目的) ケアマネジャースキルアップ。関係者間の連携強化。	月1回

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
新任ケアマネ研修	(内容) 区内の新任ケアマネジャーに、区内包括地域支援センター合同でオリエンテーションや研修、実習を行う。	前期（6月～9月） 後期（11日～2日）

平成28年度 自主事業計画書

	(目的) 新任ケアマネジャーの育成、連携強化。	区別 (11月・2月)
--	----------------------------	-------------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ねっとわーく青葉	(内容) 区内5連絡会（ケアマネジャー、訪問介護、通所、訪問看護、施設）の顔の見える、相談し合える関係づくりのために顔を合わせと意見交換会等を行う。 (目的) 区内5連絡会の顔の見える関係づくり。連携強化。	全大会（9月）、エリア会（2月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
青葉イキイキ元気塾	(内容) 介護予防教室。ロコモ予防、口腔ケア、栄養改善、認知症予防等についての講座開催。 (目的) 介護予防に関する知識の普及啓発	8回/年 6月4回、9月4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はつらつ体力チェック	(内容) 60歳以上を対象とした体力測定会 (目的) 自身の体力を客観的に把握する機会を設けることで、介護予防に関心を持つきっかけ作り。	2回/年 7月頃・12月頃

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
はつらつ体力チェック 測定結果説明会	(内容) はつらつ体力チェックの測定結果の読み方・活かし方、介護予防の大切さ等の説明会。 (目的) 体力チェックの結果を踏まえ、参加者自身の介護予防の取り組みに対するモチベーションアップ及び具体的な取り組みに繋げる。	2回/年 8月・1月

横浜市大場地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ノルディックウォーキング教	(内容) ノルディックウォーキングの体験教室 (目的)	1回/年

平成28年度 自主事業計画書

室	（内容） ロコモティブシンドロームの予防	
---	-------------------------	--

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアスキルアップ講座	（内容） 認知症の予防について （目的） 介護予防の大切さを伝えボランティアの意欲向上、介護予防サポーターのスキルアップを目指す。	1回／年

平成28年度 地域ケアプラザ収支予算書(モデル)

施設名:大場地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	認知症対応型 通所介護	生活支援
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料収入	14473	23474	151						5789
	介護保険収入				10120	19236	74721	7150	34963	
	その他									
	認定調査					466				
	原案作成委託料				495					
	雑収入									
その他	597	219				151	50			
	収入合計(A)	15070	23693	151	10615	19702	74872	7200	34963	5789
支出	人件費	12583	24587	0	1047	18912		52751	19992	5480
	事務費	2322	1735		11	1004		4832	1918	
	事業費	1161	480	151	10	260		5940	2207	309
	管理費	5282	1402			0		6181	1817	
	その他									
	居介支委託分				6679					
拠点区分間繰入金							13002			
その他										
	支出合計(B)	21348	28204	151	7747	20176		82706	25934	5789
	収支(A)-(B)	-6278	-4511	0	2868	-474		-634	9029	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額(委託料)をベースに作成してください。